

2024 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

中学生になって最初のテストであり、アルファベットなどの基本問題や書き換え、英作文などの文法問題、対話文読解問題を含めた問題構成になっています。be動詞の文と一般動詞の文の構造の違いを明確に理解しているかがポイントになります。

1 アルファベット・語い問題

(A)は、アルファベットの大文字・小文字を区別して書くことが要求される基本問題ですが、同時に単語のスペルを正確に覚えているかどうか問われる問題です。

(B)は、反対の意味を持つ語 についての問題。この時期における単語の知識量の違いで大きく差がつく問題です。また、正しいスペルで単語を書く力も要求されます。

(C)は、各単語と最も関係ある語を後の語群から選んで答える問題です。各単語の意味を正確に覚えていないと解答に迷う問題です。これといった難問はありませんので、おおよそ正解は得られるかと思います。

2 書き換え問題

2は下線部が「古い教会」なので、What で始まる疑問文にします。3は下線部が「私の兄[弟]」なので、Who で始まる疑問文にします。また、5は中1の今の時期ではHow are you?「お元気ですか。」が答えとして最も適切ですが、How's it going?も別解として正解になります。

3 発音問題

発音・アクセントに関する問題は、ふだんあまり対策がなされていないという理由からか、多くの受験者が苦手としています。中1の段階から発音記号を覚えて、単語を正しく発音する習慣を身につけておきたいところです。また、(B)のアクセント問題については、日本語とはアクセントの位置が異なる発音をする語があるので、注意が必要です。

4 整序問題

2は「彼女はあまり上手な料理人ではありません。」と日本語を言い換えて、3も「これは私の最初の日本への訪問です。」と言い換えて、英文を作ります。5はor「または」を含む選択疑問文にします。

5 連立完成問題

1は一般動詞 teach「教える」を含む上の英文を下の英文では、名詞 teacher「教師」を含む be 動詞の文にします。このような問題は今後の英語学習の基本となる問題です。3は上の英文の「あなたはとても上手なフランス語を話す人だ。」という be 動詞の文を、下の英文で「あなたはとても上手にフランス語を話す。」という一般動詞 speak を含む文になります。5は上の英文の「トムは私の父の兄[弟]だ」から uncle「おじ」を導き、さらに「マイクはトム[私のおじ]の息子だ」から cousin「いとこ」を導きます。cousin のスペルには注意しましょう。2では How many books, 4では Whose song でひとまとまりになることがポイントです。3の<thank 人 for~>「人に~を感謝する」という表現は口語でもよく使う表現ですね。

6 英作文問題

1は Who で始まる疑問文になりますが、「あの背の高い少年」は that tall boy の語順になります。2は一般動詞 walk「歩く」を含む文になり、文末に every morning「毎朝」を置きます。3は「何のスポーツ」という日本語から、What sport で始まる疑問文にすることができるかどうかポイントです。

7 対話文読解問題

関西に住む中学生の洋子と国際学校に通うイギリス出身のナンシーは初対面で、この二人が音楽、食べ物、スポーツについて語り合う対話文です。問2の整序については、「歌を歌ったり、ギターを弾いたりする」という日本語から、and を間に入れて、sing a song and play the guitar の語順に並べ替えます。問4の内容説明は、下線部(2)の直前のナンシーの発言「私の日本人の友人たちは『フィッシュアンドチップスはあまりおいしくない。』って言うのよ」を指定の字数にしたがって、「イギリスの料理」を含む日本語にまとめます。問6の単語の意味選択については、下線部(6)の語 cool の一般的な意味を選ぶのではなく、対話文の文脈から最もふさわしい意味を選びます。問7の内容真偽は、本文の内容を読み取ることができれば、容易に答えることができる問題です。今回のテストでは選択肢の文がすべて日本語でしたが、今後のテストでは英文になるので、本文の内容を読み取ることと同時に選択肢の英文を読み取ることも必要になります。

2024 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

中学生になって初めてのテストだったという受験生が多いことでしょう。得点の高低だけでなく、どの問題ができなかったかを振り返っておきましょう。できなかった問題も、まったく思いつかなかったのか、わかっていたのにミスをしてしまったのか、どこまで合っていたのかなどを書きとめておくこと今後の学習につながるかもしれません。

① 計算問題（正負の数の四則計算・累乗、式の値、文字式の計算）

計算力の確認をしています。(1)は正負の数の基本的な計算規則、(2)は「何の」累乗か理解できているかの確認です。(3)は代入と負の数の計算、(4)の文字式の計算は、分配法則や同類項をまとめることができるかをチェックしています。計算力は数学力の基礎の1つです。本番で早く正確に計算できるように、日々、問題の解き方を理解するだけでなく、正しい答えを得るまで実際に自分で計算してみることが大切です。

② 小問集合（絶対値、文字式の表し方、正負の数の利用）

(1)は、絶対値を理解しているか、「小さい」と「以下」の違いを正しく認識しているかを試しています。(2)は、文字式の表し方でよくある間違いをしないかを確認しています。(3)は、空欄に $+$ ・ $-$ ・ \times をあてはめる方法は6通りしかないので、1つひとつ計算をしていけばよいだけです。単純に順に確認していくのではなく、あたりをつけて探していきたいものです。たとえば \times をウにあてはめると $+35$ という項が現れてしまいますが、残りの数を足したり引いたりしただけで $+1$ にはなりそうもありません。そのように考えると、 \times はアにあてはまると予想されます。(4)は、たとえば $a = -1$ 、 $b = 1$ と決めて5個の式の値を求めれば答えはわかります。本番ではそのように解いてもかまいませんが、本番後はぜひ文字のまま大小関係を理解したいものです。

③ 文字式の利用（文字式の利用、正三角形の角、二等辺三角形）

(1)は、 $\triangle OAB$ が正三角形だと気づけるか、また正三角形の1つの角の大きさが 60° であることを知っているかの確認です。(2)では $\triangle OAC$ 、(3)では $\triangle OBC$ が二等辺三角形だと気づけるか、また二等辺三角形の2つの底角の大きさが等しいことを知っているかを試しています。文字式を正しく計算する必要もあります。角エの大きさは a の値によらず一定になります。この問題で、文字式のよさを再認識しましょう。

4 正の数・負の数（正負の数の利用）

魔方陣の意味を理解し、着目する行や列を適切に選択できたが鍵です。(1)ではまず、「一定の和」を求めることが大切で、(2)や(3)にもつながります。(3)は、(2)の考え方を応用できたかを確認しています。何通りも解き方がありますので、ミスなく計算できたか、いろいろな行や列でチェックしてみましょう。魔方陣は非常に奥深いテーマですので、興味をもった受験生は、手を動かしたり調べてみるとよいでしょう。

5 文字式の利用（文字式の利用）

問題文をそのまま読んで終わりにせず、乗降客数を図や表に整理する練習です。(2)、(3)のような複雑なことから図や表に整理して理解できるか、また文字式の計算をミス無くできるかを試しています。

6 正の数・負の数（正負の数の利用、組み合わせ）

問題文の説明が理解できたか、また同じような手順をたどれたかを確認しています。 a 、 b がともに正の数の場合、問題文の例では $\{a, b\} = \{1, 3\}$ の1通りのみでしたが、(1)では $\{c, d\} = \{1, 6\}$ 、 $\{2, 3\}$ の2通りあるところだけが問題文の例よりも難しいですが、そこを乗り越えられたでしょうか。(1)を解く中で、順番違いは無視して、組み合わせのみに着目すればよいことに気づけたかが重要です。その後は、(2)では $efg=6$ となる3つの数の組み合わせをみれなく見つけられたかです。もれを防ぐには場合分けをしていくことが大切です。まずは、3つの数とも正の組み合わせを見つけてから、2つの数を負の数に変えた組み合わせを見つける、という手順が効率的です。(2)をさらに複雑にした高難度の問題が(3)です。

2024 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

中学生最初のテストということで、基礎的内容を中心に、これから何度も受けることになるテストの答案をいかに作っていくか、その練習的な位置づけとして出題しています。難度の幅を広げて、得点の幅も広がる設定としています。

㊦ 漢字の読み書き

漢字の読み書きの力を測ると同時に、語彙力の有無を確認できるようなものも入れて出題しました。書き取りでは、(4)が現時点では少し難しかったかもしれません。また読みでは、(6)・(8)の正否に着目してほしいと思います。

㊦ ことばの知識・用法

ことばについてのさまざまな基礎知識は、国語力の根底をなすものです。今回出題したものは、それらの知識の中のほんの一部を確認するためのものに過ぎません。折に触れ、今回の出題以外にも、漢字の部首、四字熟語、慣用句、ことわざ、類義語・対義語などのことばの知識を広く習得していきましょう。

㊦ 随筆文の読解……… 山田太一『路上のボールペン』

脚本家として著名な筆者の、随所にユーモラスな表現を交えた、典型的な随筆を素材文として採択しました。

設問ではまず、斜め読みではないやり方で一文一文を丁寧に読むことができるかどうかを問一・問二で確認させました。特に問二は、その意図をもってすれば超基本問題であるともいえるでしょう。ここで失点してしまった場合は、文章の読み方そのものを根本から見直す必要があると思います。また字面だけでなく、書かれている内容そのものもしっかり汲み取って味わえているかどうかを確認する設問として、問三を設定しました。短い答えですが、今の段階で三つとも正解できているようならば素晴らしい。同じく問七の記述でも、本文をただまんねりと写して終わりとしていないかどうか、キーワードである「ポット」・「熱い」に着眼できていたかが、読解力の深浅を測る強力な手掛かりになると考えています。

外国を旅することが好きな作家が日本を旅する外国人に対して思うことをつづった文章を採り上げました。筆者の海外経験がどのような思いにつながっているかを、しっかり読み取ってほしいと思います。

近年のインバウンドブームで、町で外国人を見かけたり接したりする機会も増えていることから興味深い題材でしょう。問四の記述問題では、文脈に沿った読解がきちんとできているかがポイントになります。また、内容を述べる際に必要な語句を落とさないことも大切です。

四 論説文の読解…………… 茂木健一郎『ひらめき脳』

中学生になって初めての学力テスト。まずは、文脈を追いかけて読み進める力が現在の自分にはどれくらいあるのかを確認し、今後の学習指針を立てられるような素材文と設問を準備しました。

その目的のため特に工夫した設問は、問三と問七。前者は、設問の一線部とは離れた箇所には実はつながりが深いまとめの箇所があることをつかめていたかどうかを確認させる問い。本来ならば記述でまとめさせたい要旨となる内容箇所ですが、中一初回のテストという事情を考慮して、ヒントを与える形での穴埋め形式の設問としました。また後者については、あえて「指定表現」を示し与えることにより、異なる段落内の内容上のつながりに気付けるよう誘導し、そこで読み取れた流れを論理的に説明できるかどうかまでを確認させる形の問いとしました。設問中に仕組まれたさまざまなヒントを手掛かりに、どこまで正確に問題文を読み取ることができたかを各自がしっかりと振り返り、今後の学習に是非生かしてほしいと思います。